

# 町政を問う

## がん予防のさらなる充実を



遠藤 俊寛

### 子宮頸がん予防ワクチン 接種費用の全額助成を

**町長** 予防接種は任意接種であり、国の動向を見守りたい

**遠藤** 全国的に死亡率の高い大腸がんの早期発見に検診の受診率を向上させる事が重要だが、本町の受診率はいくらか。

また、受診率を向上させるための取り組みは。

**町長** がん対策としては予防できるところは予防し、検診で早期発見して治療方法が進んでいるので医療に委ねることになる。受診率の向上については、県の事業も使いつながり努力したい。

**課長** 二十一年度の大腸がん検診の受診率は、三十・一％で、昨年度対比一・二ポイント増。受診率の向上対策については補足検診に二回の日曜検診を加えた。また、各集落の保健委員さんを通じての受診勧奨、個別に葉書による受診勧奨を実施

した。今後も引き続き行っていきたい。

**遠藤** 大腸がん検診が、簡単なものだと認識がない方に対する周知の方策は。

**課長** 各保健委員さんを通じて広報に努めていきたい。

**乳がん・子宮頸がん検診無料クーポンについて**

**遠藤** 無料クーポンの対象年齢は、五歳きざみなので、五年経過しないとすべての人に行き渡らないことと、受診率の向上のために最低でも五年間の事業継続が必要と考えるが。

**町長** 国の動向は、意識しないといけないが、それ以上に大事なことだと認識はもっている。な

るべく継続の方向で検討する価値があると考ええる。

**子宮頸がん予防ワクチン接種の助成は**

**遠藤** 定期的な検診と予防ワクチン接種の組み合わせで予防できる子宮頸がんについて、国に先駆け接種費用の助成を予算計上されていることを大いに評価します。どのような判断で公費助成を考

えられたか伺う。

**町長** 子宮頸がん予防ワクチンは、ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチンとセットで、予防の充実を考え予算を出している。予防できる部分は、予防し、検診で早期発見して充実した医療を受けるようにするのが、良いだろうとの考えで進めている。

負担割合については、全額公費で助成が良いと思うが、予防接種があくまでも任意接種であること。

子ども手当で等いろいろ充実策が図られるなかで公費負担を、本町としては半額とした。

**遠藤** 半額助成があつても、二万円からの本人負担は高額であります。将来を担う子ども達のため

に全額助成を積極的に検討すべきと考えるが、どうか。

**町長** がん対策は、国の一番重要な医療政策の一つであり、ワクチンの量を確保したうえで、公的接種に早急に体制を組む議論を願いたい。そのあかつきに、本町における公的接種の負担レベルについて検討したい。



配布されたがん検診無料クーポン券